



城西大学経済学部勝浦ゼミ主催

第4回つるがしマルシェ

若葉インターナショナルフェスティバル

10月1日(日)開催で準備進行中



「つるがしマルシェ～若葉インターナショナルフェスティバル」は、城西大学経済学部勝浦ゼミが主催する地域活性化イベントです。学生の働きかけに賛同した連携協力団体等も、鶴ヶ島市役所、NPO、市民団体、地元事業者など多彩です。

「つるがしマルシェ～若葉インターナショナルフェスティバル」は、東武東上線若葉駅西口広場において地域の賑わい創出、多文化・多国籍を許容する地域コミュニティ創生を目的として、これまでにゼミ生が主催して3回開催。2016年のステージでは世界8カ国のダンスや音楽が披露され、会場では世界9カ国のグルメ屋台が異国情緒を醸し出しました。

2017年の第4回は、10月1日(日)開催に向けて既に準備が進められています。ゼミ生たちは、趣旨を十分に説明しながら地元事業者の方々から協賛金をいただき、NPOや市役所などと交渉の上、必要な資材等を借り集めるなど、皆で知恵を絞ります。さらに、出演者や出店者への説明会、保健所、消防署、警察署への許可申請や報告など、その過程で実に様々な体験をしています。

この活動は、地域で共に生きる日本人と外国人、さらに外国人同士の交流を促進しようと、ゼミの活動テーマにしたもの。イベント開催に向けての話し合い、官公庁への手続き、事前準備から当日の設営、運営、撤収まで、ゼミ生主体で動きます。この活動の中でゼミ生は、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」といった社会人基礎力はもとより、外国人に対する抵抗感などが払拭され、地域の活動を通して世界に目を向けることができるようになっていきます。

この活動は、地域で共に生きる日本人と外国人、さらに外国人同士の交流を促進しようと、ゼミの活動テーマにしたもの。イベント開催に向けての話し合い、官公庁への手続き、事前準備から当日の設営、運営、撤収まで、ゼミ生主体で動きます。この活動の中でゼミ生は、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」といった社会人基礎力はもとより、外国人に対する抵抗感などが払拭され、地域の活動を通して世界に目を向けることができるようになっていきます。



10月1日(日)には、東武東上線若葉駅西口広場「第4回つがしまルシェ若葉インターナショナルフェスティバル」に、ぜひお起こしください。イベントをお楽しみいただきながら、ぜひ城西大学経済学部勝浦ゼミ生の働きぶりもご覧ください。